

国立大学法人埼玉大学の会計監査人候補者の選定結果について

標記の件について、下記のとおり報告いたします。

記

- 1 2019年度から2021年度の複数年度を想定した会計監査人候補者の選定を行うため、2019年2月13日から3月5日までの間、本学ホームページにおいて、当該提案書の公募を行ったところ、有限責任あずさ監査法人、PwC あらた有限責任監査法人、太陽有限責任監査法人及び有限責任監査法人トーマツの4法人から提案がありました。
- 2 提出された提案書類について、本学職員6名により構成された会計監査人候補者選定委員会において同委員会で定めた「会計監査人候補者の選定評価基準」に基づき審査を実施し、第1候補者を有限責任あずさ監査法人、第2候補者を太陽有限責任監査法人、第3候補者を有限責任監査法人トーマツ、第4候補者をPwC あらた有限責任監査法人として選定しました。
- 3 会計監査人候補者選定委員会の審査結果に基づき、2019年3月28日開催の第13回役員会において審議が行われ、候補順位は次のとおり決定しました。

候補順位	提案者
1	有限責任あずさ監査法人
2	太陽有限責任監査法人
3	有限責任監査法人トーマツ
4	PwC あらた有限責任監査法人

- 4 以上の審査結果を踏まえ、2019年度の国立大学法人埼玉大学の会計監査人候補者については、第1候補者を有限責任あずさ監査法人、第2候補者を太陽有限責任監査法人、第3候補者を有限責任監査法人トーマツ、第4候補者をPwC あらた有限責任監査法人として文部科学大臣に対して候補者名簿を提出します。
- 5 今回の候補者の選定は2019年度から2021年度までの複数年にわたる候補者の選定としましたが、毎年度文部科学大臣の選任を受けることから、選任された法人との契約は単年度契約となります。そのため、2020年度及び2021年度については、各年度、前年度の監査業務の実績報告書並びに当該年度の監査提案書及び監査報酬見積書を提出していただき、本学においてその内容を評価・検証したうえで、適切であると認められた場合に限り、引き続き文部科学大臣の選任を求めることとします。
なお、選定された法人が行政処分を受けた場合や、社会情勢の変化等により適切な監査業務を遂行することが困難であると認められる場合には、選定見直しの対象となります。